

ドライバーに運転の「くせ」を自覚させ、よりよい安全運転に貢献



入社のきっかけ より広く自動車事故被害者を支援したい

私は学生時代、社会福祉や障害児教育について勉強し、その中で、自動車事故被害者の方の存在を知り、被害者の方々に対する施策や制度について興味を持つようになったのがNASVAを知ったきっかけです。もちろん、事故被害者の方への支援というのは当機構のみならず、民間企業でも行われているものと思いますが、もっと広い方々を対象に支援を行うことはできないかと考えた結果、NASVAで働くことを決意いたしました。

担当業務 ドライバーへの助言指導を通じ達成感を実感

私は現在、福岡主管支所適性診断グループに配属されています。業務としては、初任診断・適性診断などの法令で定められている適性診断のほか、任意で受けていただく一般診断などを実施しています。また、適性診断で使用するパソコンのメンテナンスも行っています。加えて、産業カウンセラー資格を取得させていただき、カウンセラーとしてのスキルを活かして初任診断・適性診断などの助言指導を行っています。日々ドライバーの方とお話させていただき、運転者の立場から見た自動車事故への考え方や視点の違いを学んでいます。また、ドライバーの方のお話の中で、「普段意識していなかったけれども、安全運転について学べて良かった」「自分の運転でも今日知ったことを実践してみようと思う」と言っていた際には、達成感を感じることが出来ます。

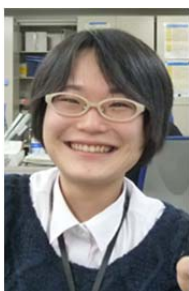
将来の目標 安全マネジメント業務や介護料支給業務にも携わりたい

現在は適性診断グループに配属されておりますが、今後は適性診断グループの業務だけでなく、他のグループが担当している業務も一通り出来るようになることが目標です。特に興味があるのが、「安全マネジメント」業務と、被害者援護業務の中の「介護料支給」業務です。安全マネジメント業務では事業者と一体になって安全風土の醸成に貢献することに、介護料支給業務では利用者の方の生活の質の向上に寄与できることに魅力を感じております。そのためにも、さらに自己研鑽に励んでいかなくてはならないなと気を引き締めているところです。



学生へのメッセージ 安全な社会の実現に貢献します

さて、独立行政法人自動車事故対策機構という名前、初めて耳にされる方も多いのではないかと思います。当機構の業務は、自動車運送事業者や自動車事故被害者の方を対象にしたものですので、一般の方がお目にかかる機会は少ないかと思います。しかし、その業務は自動車事故被害者及び加害者を減らすことを目的とした公益性の高い、必要不可欠な仕事です。現に自動車事故による死亡者数は年々減少しておりますが、負傷者数は未だ80万人を超えており、またその事故の内容もより多様化しているのが現状です。我々の業務は、この現状を改善させ、安全な社会の実現に貢献しています。「より広い方を対象に仕事がしたい」と考えている方、「自動車の安全に関わる仕事がしたい」という方であれば、きっとやりがいと充実感を感じていただけるのではないのでしょうか。興味がある方は最寄りの支所にこっそり適性診断を受けに来てみてください。最後に、皆様にお会いできることを、そして一緒に働けることを楽しみにしております。



坂元 美聖 サカモト ミサト 福岡主管支所スタッフ

平成24年4月入社 人間総合科学研究科博士前期課程障害科学専攻修了
福岡主管支所に配属され、現在に至る
<休日の過ごし方や趣味>
ラーメン店巡り・カフェ巡り・ライブ参戦・散歩・もし料理の新開発